

高浜市議会だより

びいふる

愛知県立高浜高等学校のみなさん



たかこう祭にて



※表紙写真は高浜高校写真部の生徒さんからご提供いただきました。

contents
目次

- P2～P7……………10月臨時会・12月定例会：議案の内容・議案審議、議員の態度（採決結果）
- P8～P13 ……市政のここが聞きたい（一般質問）
- P14 ………………議会中継のご案内、3月定例会のご案内（日程）、手話に関する施策の紹介、編集後記

議案等の件名・主な内容 及び 質疑・賛成、反対意見や各議員の態度

種類番号	件名	議案等の主な内容	主な質疑及び賛成・反対意見等 議案は質疑を優先して掲載 ※委員会で討論意見がないものは本会議の賛成・反対討論	会派名	市政クラブ	公明党	共産党	青政会	高志クラブ	新国会	高浜市民の会	清風会								
				議員氏名	荒川 義孝	神谷 直子	杉浦 康憲	杉浦 浩一	柳沢 英希	杉浦 辰夫	北川 広人	鈴木 勝彦	今原 ゆかり	小嶋 克文	内藤 とし子	柴田 耕一	岡田 公作	黒川 美克	倉田 利奈	長谷川 広昌
10月臨時会 第5回(会期:10月31日・1日間) 議案等				結果	○=賛成 ●=反対															
議案第55号	高浜市やきものの里かわら美術館・図書館の指定管理者の指定について	高浜市やきものの里かわら美術館・図書館の指定管理者を指定する。 指定管理者：かわら美術館・図書館運営共同事業体 代表構成団体：株式会社乃村工藝社 指定の期間：令和5年4月1日から令和10年3月31日まで	問 市が直接運営した場合、指定管理者制度で運営した場合、業務委託で運営した場合についての財政効果は。 答 具体的な金額としての比較は行っていない。 問 建物を新築するわけではないからお金はかからないと言われたが、陶芸創作室の改修費等の費用、いきいき広場の改修や、書棚の購入等、今ある図書館をきちんと雨漏りを直して使っていくことよりも、費用はかかるのでは。 答 現図書館を今後継続していくと、大規模改修が必要となり大体4億円強。費用をかけることなく、今の既存の施設に移転することで、そこに係る費用がかからない。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	工事請負契約の変更について	高取小学校長寿命化改良工事並びに高取児童クラブ長寿命化改良工事及びみどり学園解体工事について、高取児童クラブ長寿命化改良工事において床の結露対策の必要が生じたこと等及びみどり学園解体工事において浄化槽の撤去の必要が生じたことに伴い、契約金額を増額する。 232万1,000円増額し、変更後10億9,131万円	問 今回の工事請負契約の変更に伴い、学校や児童クラブの現場への影響は。 答 児童クラブについては、1ヶ月ほど工期が延びるため、その間、高取ふれあいプラザを代用する。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	令和4年度高浜市一般会計補正予算(第10回)	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3億6,857万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ171億3,797万4,000円とする。 債務負担行為補正：高浜市やきものの里かわら美術館・図書館指定管理料、令和5年度～9年度、9億3,057万5,000円 他2事業 【主要新規事業】 ICT推進事業、価格高騰緊急支援給付金支給事業、愛知県子育て世帯臨時特別給付金支給事業、省エネ設備更新支援事業、小学校維持管理事業、美術館管理運営事業	問 美術館運営事業の債務負担について5年間で9億3,000万という高額になった理由は。 答 主な要因は人件費のベースアップ、光熱水費の増加。 問 省エネ設備更新支援事業について更新した結果、年間のCO2削減量は。 答 概算で12万キログラム。 問 価格高騰緊急支援給付金支給事業の申請期限は。 答 国は来年の1月末だが本市は2月末まで。 問 ICT推進事業のマイナポイント申請サポート業務委託について現在までの成果は。 答 6月30日から10月28日までに3,082件のサポートを実施。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第57号 令和4年度高浜市一般会計補正予算(第10回)に対する修正案	第2条を削り、第3条を第2条とする。 第2表 債務負担行為補正の表を削る。 (第2条：債務負担行為補正の追加は、「第2表 債務負担行為補正」による。)	問 修正案に対する整備並びに移転等のスケジュールは。 答 もともと分散することが反対。今の図書館をそのまま運営していくということなので、スケジュールは示さない。	否決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○
議案第58号	令和4年度高浜市水道事業会計補正予算(第1回)	収益的収入及び支出の水道事業費用を644万6,000円増額し、総額8億5,580万1,000円とする。	質疑なし	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第8号	専決処分の報告について	市有自動車の物損事故に関し、損害賠償の額を12万3,200円と決定し、和解した。	報告事項のため、質疑なし。	報告事項	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
12月定例会(会期:11月30日～12月20日・21日間) 議案等				結果	○=同意、賛成、採択 ●=不同意、反対、不採択 欠=欠席															
諮問第2号	人権擁護委員の推薦について	現任委員の加藤美枝子氏が令和5年3月31日で任期満了となるので、新たに岩井伸江氏を推薦する。 参考：委員定数5人、委員任期3年	質疑なし	異議のない旨答申	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第6号	教育委員会委員の任命について	現任委員の後藤恵理氏の任期満了に伴い、再度選任するため、議会の同意を求める。 参考：委員定数4人、委員任期4年	問 今回、任命されると高浜市教育委員会委員と高浜市総合計画推進会議委員の兼任となるが見解については。 答 実績、活動等からして、専門分野の立場で御意見を頂くとということで適任と判断している。	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	高浜市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	投票所及び期日前投票所の投票管理者及び投票立会人の報酬額を、国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律に定められた経費の基準の額に引き上げるほか、いずれの投票立会人も、選挙の投票時間に満たない時間で従事した場合は、報酬額をその半額と定める。 投票所の投票管理者12,000円から12,800円、期日前投票所の投票管理者10,600円から11,300円、投票所の投票立会人9,800円から10,900円、期日前投票所の投票立会人8,700円から9,600円。	問 投票所での立会人の報酬を見直す理由は。 答 現状の条例では立会人の報酬額は日額しか規定をしていない。半日の立会人に対して1日分の報酬を支払っていることから、1日分の投票時間に満たない場合は報酬額を2分の1にする。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	高浜市職員の定年等に関する条例の一部改正について	地方公務員法の改正に伴い、高浜市職員の定年年齢を65歳まで段階的に引き上げるほか、管理監督職務上限年齢制、定年前再任用短時間勤務制及び暫定再任用制度について定める。	問 役職定年制の具体的な職は。手当は、どうなるか。 答 技師職・建築職と一人の者が二つのグループリーダーを兼務する場合。管理監督職は、手当ての7割。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

詳しい内容は、市公式ホームページに「会議録」を掲載していますので、ご覧ください。

市公式
ホームページ

「トップページ」→「高浜市議会」→会議録「定例会」「臨時会」「委員会」「特別委員会」

URL <https://www.city.takahama.lg.jp/site/gikai/>
(※ご覧になりたい「会議録」を選んでください。)



市政の 一般質問 ここが聞きたい!!



一般質問は、定例会で議員が議案に関係なく、市政全般について市の方針をたずめるものです。
(高浜市議会会議規則 第61条 議員は、市の一般事務について、議長の許可を得て質問することができる。)
なお、掲載文は、議員本人作成(文責)の原稿です。



黒川 美克 議員

高浜市公共施設あり方 計画について

問 令和2年4月から6月まで、図書館機能移転支援業務委託を行った。委託費用と、どのような結果で、公共施設推進本部会議ではどのような議論がされたか。

答 この委託は、令和元年度から令和2年度にかけて行い、委託先は、(株)加藤建築事務所で金額は249万7,000円。目的は、図書館の機能移転先の検討に当たり、実現性が可能かどうか、建築などの制約等、専門の見地から、機能移転先判断をするための調査で、情報共有ということで公共施設推進本部会議にも資料の提供をしている。

問 高浜市立郷土資料館も、2階部分が雨漏りしている。大切な郷土資料が毀損してもいけない。修理の時期は。

答 現在、雨漏りの箇所がそれほど多くないので、状況を見ながら対応する。

高浜市やきものの里かわら美術館・図書館について

問 市の直接運営と指定管理で運営した場合の比較をしていると思うが、その結果は。

答 指定管理者制度で運営している中で、指定管理評価委員会、図書館協議会、美術館運営審議会でも運営内容が非常に高く評価をされている。図書館であれば、配架とか非常に分かりやすくなった。相談とかにも乗ってもらいやすく、サービスが向上した。かわら美術館については、ユニークな企画を立案している。鬼師や文化協会やいろいろな市民団体とのつながりを持って、成果を出しているという評価。

直営と比較してということ、直営の場合は、市の職員が企画運営、施設の維持管理を行うというところで、学芸員とか司書は、あまり異動はないが、それ以外の職員は、一定の年数で人事異動があり、年数を経験して、ノウハウとかを積み上げても、人が代わるとその部分がうまく継承されにくいところがある。企画面、施設の維持管理面でも、今の指定管理者制度が専門性を発揮でき、有効に機能している。



小嶋 克文 議員

太陽光発電設備の設置について

問 太陽光発電設備を設置している公共施設は。

答 市役所本庁舎、高浜エコハウス、翼小学校、高浜小学校、さわたり夢ひろば。

問 今後、公共施設の太陽光発電設置計画は。

答 施設の耐震状況等を考慮し、優先順位の高い施設を10施設ほど抽出し、施工方法、省エネ仕様、民間活力の導入等を検討し、財政状況をみながら計画的に設置。

問 指定避難所への太陽光発電設備の設置は。

答 国の補助金が採択されれば、防災拠点、避難所となる施設の調査を優先的に、太陽光発電設備の導入調査を10施設程度抽出して実施する。

問 一般家庭における太陽光発電設備を設置している住宅件数は。

答 平成24年度制度開始からの累計設置数は、1,460件。直近5年間では716件。

問 高浜市においては、現在、瓦を利用しないと愛知県の太陽光発電設備の補助金制度は利用できない。瓦以外の屋根材にも、補助金制度を利用出来るようにすべきだと思うが。

答 地場産業の振興から瓦のみの補助制度を運用してきた。今後はカーボンニュートラル推進の観点から、瓦以外にも補助対象を拡大する。

瓦屋根の耐風診断について

問 台風や強風による屋根瓦の脱落などの被害を防ぐ耐風対策の状況は。

答 昨年度、強風などによる住宅等の瓦屋根の被害の軽減を図る耐風対策、また、耐風対策とあわせて地場産業である三州瓦の支援をするため、瓦屋根の診断に対する「高浜市瓦屋根耐風診断補助制度」を創設した。

問 診断の際の補助金は。

答 診断費用に対する補助金は2段階。1段階目として、瓦屋根の結合方法について、適合確認するための診断費用として3分の2を補助。限度額は21,000円。2段階目として、葺き替え工事を実施した場合、診断費用の3分の1を補助。限度額は10,500円。



今原 ゆかり 議員

おくやみ窓口の設置について

問 全国の市町村において、死亡に関する手続を行うための専用の窓口を設け、亡くなった方や遺族の状況に応じて必要な手続を抽出し、申請書作成の補助、受付、関係する窓口の案内等を行う

ワンストップサービスを提供する「おくやみ窓口」の設置が進んでいる。近隣市の状況は。

答 安城市は令和3年7月1日から、刈谷市、知立市、碧南市は令和4年7月1日から開設している。

問 おくやみ窓口を設置する場合の課題は。

答 事前予約の受付方法、各グループにおける必要な手続の特定、必要書類の準備方法や対応システムの構築、職員体制の確立。また、ICTを活用したいいきいき広場との窓口対応方法の確立、設置場所の選定など。

問 設置に向けて、市の考えは。

答 行政サービスのデジタル化により、窓口サ

ービスの在り方の大きな変化が予想される。現在、本市では来庁者削減プロジェクトを設置し、ワンストップ窓口の実現に向けて、本庁舎といいきいき広場の連携等を進めているところ。市民サービスの向上を考えるよい機会でもあることから、前向きに検討していきたい。

男性トイレにおけるサニタリーボックスの設置について

問 男性特有の前立腺がん、膀胱がん患者が増加傾向にあり、摘出手術を受けると、頻尿や尿漏れに悩み、尿漏れパッドなどを使用する例もある。トランスジェンダーの方に、男性トイレの個室にサニタリーボックスがなくて困ったと聞いたこともある。公共施設や市が管理している公園の、男性トイレの個室にサニタリーボックスを設置してほしいが、市の考えは。

答 市庁舎をはじめ、多くの多目的トイレや身体障がい者用トイレには、サニタリーボックスを設置している。当面はこれらのトイレで、解決可能だと考える。今後は、状況を見ながら判断していきたい。



杉浦 辰夫 議員

令和5年度予算編成に 対する市政クラブの 政策提言について

問 令和5年度の予算編成の考え方は。

答 テーマを「第7次高浜市総合計画スタート予算」と位置づけ、第7次高浜市総合計画を着実に推進し、

将来を見据えた安定的で持続可能な財政基盤の構築を図ることに主眼を置き進める。基本的考え方は、「第7次高浜市総合計画の着実な推進」と、「事業の見直しによる経常経費の削減」。

問 現時点の市税収入の見込みと、市税以外に、どのような影響があるか。

答 今後、変更する可能性があるが、市税収入の総額は約90億円、前年度と比較して約5億円の増、地方譲与税、各種交付金及び施設使用料は、前年度並みの額を見込む。普通交付税や臨時財政対策債、減収補てん債は、財源不足を補う制度の対象外になることを想定している。

問 本市の予算編成方針で、重要な事業は。

答 重要な視点として、「安心・安全な子育て環境に関する視点」、「教育環境の向上に関する視点」、「DX推進に関する視点」、「地球環境の保全に関する視点」、「福祉の重層的支援に関する視点」。

公契約条例について

問 本市の「公契約条例」に対する考え方と、現時点の制定時期は。

答 ダumping受注に対応するため、「最低制限価格制度」及び「低入札価格調査制度」を導入。公契約条例の制定は、県内自治体や近隣市の動向を調査・把握してきた。制定時期は、令和4年度中を目標。

問 条例を制定する目的は。高浜市は、実質的な賃金の下限条項を設定する条例か、理念条例でいくのか。

答 目的は、公共工事において労働者の適正な労働環境や、その他の労働条件を確保するとともに、公共工事の品質確保を目的とし、地域経済の健全な発展及び市民福祉の増進に寄与すること。公契約に対する基本理念といった方針を条例に示す「理念条例」で考えている。



荒川 義孝 議員

市政クラブ提言書より ～まちの価値を発掘し、 みんなでまちをつくる～

問 市民協働の推進について、各地域団体やまちづくり協議会が抱える課題は。

答 最大の課題は担い手の不足、事業の運営者の発掘が年々厳しい状況。

問 町内会の加入率、若者・働き世代の参加など、時代に即した新しいコミュニティのあり方が要請されるがどう考えるか。

答 民間やデジタル化により、協力し合わなくても個人でも問題解決が可能となったため、地域コミュニティがその変化に対応できていない。

問 様々な地域課題を住民自らの解決が期待できるシビックプライドを醸成する方策は。

答 まちへの愛着を持ってもらうため、ナッジが必要と考え、地域活動に参加した際にインセンティブの付与などを検討していきたい。

問 情報発信やシティプロモーションについて、内外へ本市の魅力や価値を伝え広めるための発

信及びプロモーション戦略は。

答 市公式ホームページの工夫、広報、SNSなどの媒体による発信を行っているが多様化する発信手段に対し、情報の受け手のニーズにあった的確な情報発信を行う戦略が必要。

問 本市を訪れる交流人口、移住する定住人口の増加のためどう取り組むか。

答 地域資源を魅力的に発信するための見せ方・仕方、子育て・子育てに関する取り組みに力を入れ、年齢を重ねても健康に暮らせる生涯現役のまちづくりを進めてきた。

問 地域資源の発掘、課題解決、定住民の郷土愛の醸成に有益な関係人口をどう考えるか。

答 関係人口（本市のファン）を増やすために本市のことを知り、ともに行動できる機会の創出が必要と考え、今後検討していく。

問 DXの推進について、来庁者削減プロジェクトで想定するデジタル窓口とは。

答 来庁なしのオンライン手続を増やす。

問 人と人との関係が無機質になりがちなデジタルとアナログをどう活用するか。

答 効率を重視したデジタルと丁寧な説明や移動の少ない対面サービスを選択してもらう。



神谷 直子 議員

市政クラブ提言書より
～高浜の未来を育む
学びについて～

問 学校教育について、学校改良工事の進捗は。

答 高取小学校の改良工事は、今年の夏休みから順調に進捗。

問 主体的・対話的で深い学びの研究と学習活動の進捗は。

答 何を学ぶかだけでなく、どのように学ぶかを視点に一人一授業の公開等を通し研究。

問 GIGAスクールの進捗は。

答 導入3年目で、子どもの力を引き出すためのツールとし良い姿を引き出している。

問 支援の必要な児童生徒についての対応は。

答 効果的な取り組みについて情報交換を行い指導に活かしている。

問 子育てについて、待機児童の対応は。

答 H27年度に待機児童0を達成。今後も小規模保育等を活用して、ニーズに応じていく。

問 子育て中に孤立しない環境配慮は。

答 LINEの活用や、ポータルサイト、メルマガ等、情報発信に努め、孤立しないよう工夫。

問 子どもの車内置き去り事件への対応は。

答 バス通園の園は1か所。警察、地域と共に園児に訓練し、事故防止の予防に努めた。

問 保育サービスには何があるか。

答 おむつ処分は公立園で進める。私立園では、おむつのサブスク、お昼寝布団の貸し出し等を利用できる園もある。各園のHPに記載。

問 兄弟で同園に通えない家庭への配慮は。

答 別園に通っているのは31件。8月に転園希望を優先的に聞き、解消できるように工夫。

問 文化スポーツについて、かわら美術館・図書館の取り組みは。

答 今後の生涯学習の中核を担い、「高浜の人とまちが育つ つながりの森 みんなで美術館 ささえる図書館」の基に市民と共に創る。

問 人材を活かせる環境づくりは。

答 高浜高校を始め、様々な市民が、スポーツ、文化等の分野で活動・活躍をしている。

問 愛着を持つ工夫は。

答 古い建物を改修する折に、歴史的な調査をし、深く知る事で、愛着を強められる工夫。



柳沢 英希 議員

市政クラブ提言書より
～魅力あふれる
まちづくりについて～

問 財政を踏まえ、用途地域の見直し、計画的な都市整備について。

答 第6次総合計画では、高浜芳川緑地の整備、豊田町工業地区の開発、衣浦豊田道の4車線化整備。これらを踏まえ、調整区域で残っている神明町5丁目地区、小池町3丁目、6丁目の一部の計画的活用検討が必要。近隣状況に配慮しマスタープランでは、住居系・産業系の新市街地と変更した。水道は漏水箇所を修繕、下水は定期的な保守点検により不具合はない。道路、公園、河川も計画的に維持管理を実施していく。

問 更なる財源確保、安定した雇用の場の確保、企業誘致、創業支援について。

答 第6次総合計画後期では、補助金の交付やその後のヒアリング、工専地域の緑地面積の緩和、創業支援では商工会と共同で、たかはま経

営塾を実施。令和4年度は13名が受講。累計323名。内容は会計や開業の基礎知識や事業計画書作成のサポートなど。女性や主婦層が多く、受講により、会社設立時の登録免許税の免除、開業資金の貸付利率の引き下げなどメリットがある。結果46名が創業した。高浜市は商工会ならではの、創業から廃業までの伴走型という事業者寄り添ったサポートが可能。今後も環境変化に適応した企業支援を考えていく。

問 環境に配慮した5Rの促進と今後の分別や立ち番制度のあり方について。

答 分別学習等の実施でごみの減量や5Rの意識向上に努めている。今後ユニバーサルデザインも取り入れ、分別便利帳も分かりやすくしていく。可燃ごみ袋有料化の検証もコロナ後、検証していく。CO2削減は、太陽光発電設備や公用車のエコカー導入を検討。外国人を含めた転入者にも周知の徹底や啓発、ごみ分別アプリ導入も進めていく。分別が綺麗に実施されているのは立ち番をしてくださる皆さんのおかげ。今後も助け合いの精神を継続して欲しい。新たな取り組みで、ペットボトルを再度ペットボトルとしてリサイクルできるよう検討を始めた。



杉浦 浩一 議員

市政クラブ提言書より
～元気で毎日を笑顔で
暮らせるように～

問 福祉「その人らしく安心して生活できる地域共生のまちづくりを進めます」について、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため重層的支援体制を整備とは。

答 ①本人・世帯の属性や世代を問わずに受け止める「包括的な相談支援」、②狭間のニーズに対応できるように、地域資源を活かしながら、就労支援、居場所づくりなどを提供することで、社会とのつながりを回復する「参加支援」、③地域社会からの孤立を防ぐとともに、地域における多世代の交流や多様な活躍の機会と役割を生み出す「地域づくり支援」。

問 健康「一人ひとりと地域全体の健康づくりを応援します」について、生活習慣病の予防検診として、「特定健診」が実施されているが本市の健診受診状況は。

答 令和2年度の実診率は、全国33.7%、愛知県35.9%、本市は40.7%。

問 本市がこれまで実施してきた認知症予防の取り組みは。

答 高齢者の方が自ら出かけたくなるような場所や仲間と触れ合える場所を「健康自生地」と名づけ、居場所づくりを進めている。

問 若年性認知症に対する取り組みは。

答 いきいき広場の地域包括支援センターを窓口と位置づけ、医療機関、各種関係機関とネットワーク化を図り対応。

問 防災・防犯「防災・防犯の意識が高いまちづくりを目指します」について、「自助」、「共助」、「公助」の取り組みは。

答 自助についてはマイタイムライン作成の周知、非常食などの備蓄の周知。共助については、まちづくり協議会、高浜市商工会、地域団体、事業者との意見交換を通して防災・減災対策の推進に努めている。公助については避難所への非常食の備蓄品更新、避難所運営のための機能向上に努めている。



倉田 利奈 議員

大山会館について

問 大山会館と春日庵は、すでに高浜小学校の地域交流施設に機能移転している。しかし、春日庵は機能移転後も一般利用ができるが大山会館は一般利用ができない。なぜか。

答 春日庵はしばらくの間利用していく。大山会館については、廃止をする。

問 大山会館は、投票所と避難所としてのみ利用していくと説明があったが、おまんこまつり開催時は、ロビーとトイレが利用できる状態であった。誰がどのような理由で許可したのか。

答 市長が、来場者が屋内で休憩できるようにしたほうがいいということで、開放した。

問 桜まつりのときは利用できるのか。

答 その時々で判断していく。

問 多くの市民から、大山会館を利用したいという声が届いている。どうすれば、利用できるのか。

答 貸してはいない。市が安全性を考えてトイレとロビー開放した。

図書館機能移転について

問 図書館の機能移転により、指定管理料（管理運営費）が現在の図書館と美術館を合わせた金額より2,239万5,000円毎年増額となる。また、今後の美術館の改修費についても30億650万円かかる。将来の財政計画に影響はないのか。

答 財政運営上問題ないと思っている。

問 複合化のモデル地区である高浜小学校の複合化について、財政的な効果があるかどうか聞いたところ、「公共施設の面積が減っているから、財政効果はあると考えております。」と答弁があった。しかし、今回の図書館の機能移転については、面積は減っていないし、指定管理料も年間約1億8,000万円で、今までより、年間約2,240万円あがる。そのうえ、移転に係る費用が既に約5,000万円かかることが分かった。機能移転による財政効果はあるのか。

答 現図書館について、大規模改修や建て替えもおこなわないことから、財政効果はあると認識している。



長谷川 広昌 議員

ポストコロナの 行財政運営について

問 将来にわたった「安定した市民生活」と「より豊かな高浜」を築いていく必要があると考えるが、今後の「基本方針」と「目指す姿」は。

答 国が掲げる5つの柱に加え、SDGsの推進を重点的な取り組みに掲げており、長期化するコロナ禍や物価高騰、人口減少や少子高齢化などの難局を乗り越えるだけでなく、課題解決と経済成長を同時に実現していくことを目指している。

問 その「基本方針」と「目指す姿」を実現するにあたって、市独自の具体的な取り組みは。

答 「安心・安全な子育て環境に関する視点」、「教育環境の向上に関する視点」、「DX推進に関する視点」、「地球環境の保全に関する視点」、「福祉の重層的支援に関する視点」の5つの視点に取り組んでいく。

問 財源の確保こそが市政運営の要と考えるが、

そのための「市政改革」、「効果的な行財政運営」についての取り組みは。

答 市政改革については、施策をより効率的に推進するため、民間事業者や関係する自治体間などの広域的な連携・協働を積極的に推進していくとともに、行政経営の体制を構築していくため、人材育成や組織づくりに取り組んでいく。効果的な行財政運営については、歳入・歳出面からの徹底した見直し及び経常経費の削減に果敢にチャレンジしていく。一方で、限られた財源を有効的に活用するため、選択と集中の観点からメリハリをつけた予算編成を行う。

問 「見直しによる経常経費の削減」と「選択と集中」というワードは過去に幾度となくあったが、令和5年度はなにが違うのか。

答 ポストコロナは今まで以上に厳しい予算になると予測されるため、将来を見据えながら、まず、一歩先を見据え、内部でも厳しく議論を積み重ね、予算編成に向け準備をしている最中である。また、選択と集中は、職員の予算に対する姿勢として確立しつつあるとともに、第7次総合計画のスタートの年となるため、令和5年度予算編成は期待していただきたい。



杉浦 康憲 議員

高浜市としてのイベント やお祭りに関する考え方 について

問 おまんと祭り、菊人形、えんちょ獅子等が無形民俗文化財に指定されているが、市としてどんな関わり方をし、継承発展の支援をされているのか。

答 市民の共有財産である文化財を、市民が主体となり、守り育てていくことが重要である。文化財保護条例に基づき、伝承者の養成や保存に必要な経費等に支援を行っている。

問 高浜南中学校にはえんちょ獅子の部活動があるが、伝統文化と教育との連携をどのように考えているのか。

答 地域に受け継がれてきた伝統文化の継承者育成の大変重要な場となっている。

問 従来の枠組みとは異なる新たな挑戦をしたい方は、市民予算事業交付金など、既存の支援制度から外れてしまうような場合もあるが新たな支援等を創設する考えがあるのか。

答 まずは既存の制度を活用して新たな挑戦の支援ができるかどうか、検討していく。隙間を埋める仕組み、若い人材の挑戦を支援できるような制度の構築などは検討していきたい。若い人同士でまちづくりパートナーとしての登録が難しい場合は、隙間を埋める仕組み、若い人材の挑戦を支援できる制度の構築などを検討していきたいと考えている。

また、市としてではないが、国や県、地域活性化センターといった外部団体が行っている補助制度もある。そうした市以外の外部の補助制度の活用についても、相談があれば一緒に検討していくことを考えている。

問 イベントやお祭りは開催することだけが目的でなく、それを通じた人材育成が重要であり、そこに重きを置いて進めていくべきでは。

答 イベントやお祭りは、スタッフの負担感の増加や集客に目が行きがちになる。人材育成というよりはにぎわいの創出が主な目的になってしまうという場合も多いと思っている。関わる中で、スタッフ同士の絆は強くなり、やり方を継承するだけでなく、込められた思いや目的も継承していくことが大切だと思っている。

議場に行かなくても「本会議」が見られます

インターネット回線に接続されているパソコンやスマートフォンから、
ライブ配信や録画配信をごらんいただけます。

- ①ライブ配信で、本会議の視聴ができます。
※告示日と各委員会の配信はありません。
- ②本会議開始時刻は、いずれも午前10時開始予定です。
- ③録画配信は、ライブ配信後、概ね2週間後を予定しています。

市公式ホームページからも
リンクしています

「トップページ」→「市の紹介」→「高浜市議会」→「議会映像配信」
上記より、ご覧になりたいものを選択いただければ、見ることができます。

■スマートフォン向けアドレス・PC向けアドレス

<http://smart.discussvision.net/smart/tenant/takahama/WebView/rd/council.html>



！
ご注意ください

※視聴は無料ですが、通信料などは、皆様のご負担になります。
※動画配信ですから、契約内容によっては、通信料が高額になる場合があります。
※視聴環境に係る契約内容をよく確認・納得の上、ご視聴ください。

3月定例会

定例会は3月・6月・9月・12月の、年4回開催されます。会議の開始時間は、いずれも午前10時の予定です。一般質問では、市政全般にわたって論議が展開されます。ここに記載のある委員会も傍聴できます。

3月定例会の日程

月 日	曜	会 議 日 程	摘 要
2月15日	水	告示日	議会運営委員会
2月22日	水	本会議 第1日 ライブ配信	開会、施政方針、教育行政方針、議案上程、説明
2月28日	火	本会議 第2日 ライブ配信	一般質問
3月1日	水	本会議 第3日 ライブ配信	一般質問
3月2日	木	本会議 第4日 ライブ配信	総括質疑、予算特別委員会設置、議案委員会付託
3月8日	水	予算特別委員会	付託案件審査
3月9日	木	予算特別委員会	付託案件審査
3月14日	火	総務建設委員会	付託案件審査
3月15日	水	福祉文教委員会	付託案件審査
3月23日	木	本会議 第5日 ライブ配信	委員長報告、委員長報告に対する質疑、討論、採決、閉会

高浜市の手話に関する 施策の紹介

事業者向け

手話通訳者派遣助成金交付事業

【内容】 指定を受けた市内のイベントなどにおいて、聴覚障がい者などの参加を促進するために実施した手話通訳者の派遣に対して助成金を交付しています。

【助成額】 手話通訳者の派遣に要する経費の4分の3の額（上限7,500円）

編集
後記

12月定例会では、平成19年以来、まさに15年ぶりに議員定数が見直しされました。この議員定数見直しには、市民の皆様も、賛否両論あると思いますが、今回の見直しで議員定数が2人削減され14人となりました。定数割れや無投票での選挙が行われずに、削減するのはいかがなものか、という意見等、様々な意見がありました。来期、4月の高浜市議会議員選挙の改選後では、14人での議会運営が始まります。

その時まで、後1回の定例会を残すのみとなりました。最後までこのメンバーで、しっかりと広報広聴委員会も務めてまいります。
広報・広聴委員会委員長